



全国共同制作プロジェクト

蝶々夫人

プッチーニ歌劇

《新演出》全幕・日本語字幕付原語上演

チケット料金(全席指定・税込)

S ¥10,000 A ¥8,000 B ¥6,000 C ¥4,000

D ¥3,000 E ¥1,500 SS ¥12,000 *All reserved-seats

一般発売：2016年9月24日(土)10:00～

[芸術メンバーズ先行(WEB先着):9月10日～9月16日]

チケット取扱

◎東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

<http://www.geigeki.jp>

*Online Ticket Booking: <https://www.geigeki.jp/english/t/index.html>

◎チケットぴあ

0570-02-9999 (24時間・音声自動応答 Pコード:304-345)

◎イープラス <http://eplus.jp/>

◎ローソンチケット

0570-000-407 (オペレーター対応10:00～20:00)

0570-084-003 (音声自動応答 Lコード 33179)

◎東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650 (休館日を除く10:00～19:00)

主催 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

事業提携 読売日本交響楽団

協力 劇場、音楽堂等連絡協議会

注意事項 ●公演内容につきましては、変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。●公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。●営利を目的としたチケットの転売は固くお断りします。●公演中の入退場、写真撮影、録音、録画は、固くお断りいたします。●開演時刻に遅れますと、長時間入場をお待ちいただいたり、立ち見となる場合がございます。●未就学児のお子様の入場はご遠慮ください。●座席によって一部字幕が見えにくい場合がございますがご了承ください。

本公演には、託児サービス(予約制・有料)がございます。 お問い合わせ 03-3981-7003



平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
(共同制作支援事業)

全国公演スケジュール[全5回]

金沢	1/22(日)14:00 金沢歌劇座 [問合せ] 金沢芸術創造財団 076-223-9898 石川県立音楽堂 076-232-8632
大阪	1/26(木)18:30 フェスティバルホール [問合せ] フェスティバルホール 06-6231-2221
高崎	2/4(土)16:00 群馬音楽センター [問合せ] 群馬音楽センター 027-322-4527
東京	2/18(土)・19(日)14:00 東京芸術劇場 [問合せ] 上記参照

共同制作
(公財)金沢芸術創造財団、関西テレビ放送、フェスティバルホール(朝日ビルディング)
(公財)高崎財団、東京芸術劇場(公財)東京都歴史文化財団
(公財)石川県音楽文化振興事業団(オーケストラ・アンサンブル金沢)
(公社)大阪フィルハーモニー協会、(公財)群馬交響楽団、(公財)読売日本交響楽団
協力 劇場・音楽堂等連絡協議会
後援 公益社団法人全国公立文化施設協会、公益社団法人日本オーケストラ連盟

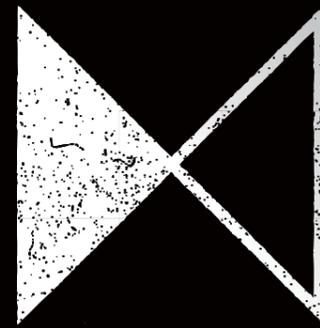
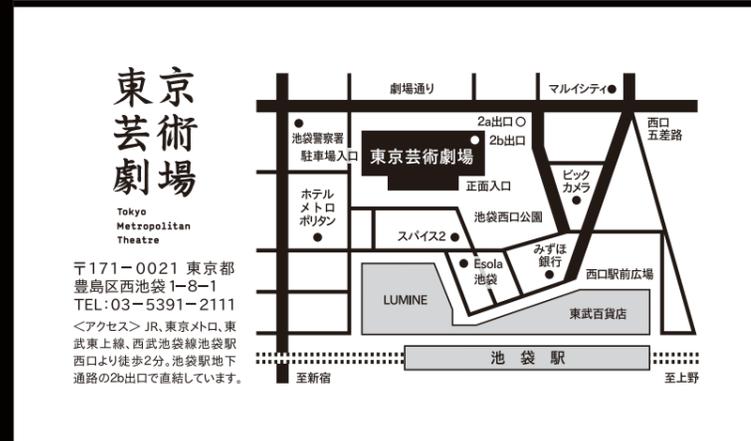
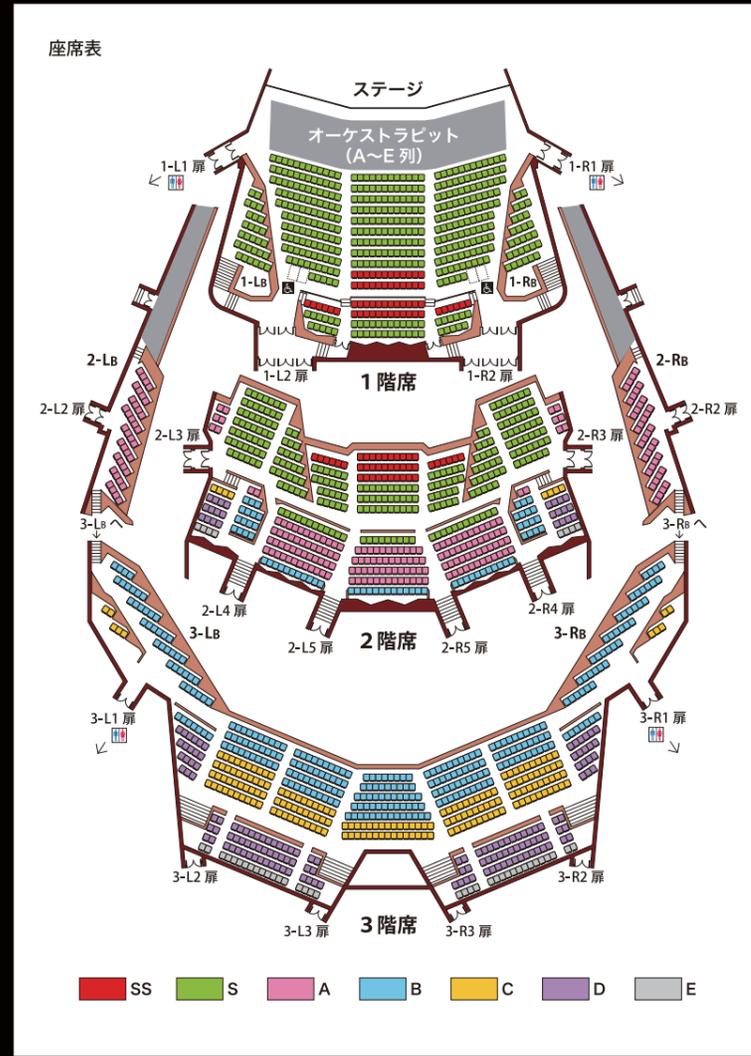
2017 2/18(土) 蝶々夫人:小川里美 Satomi Ogawa

19(日) 蝶々夫人:中嶋彰子 Akiko Nakajima

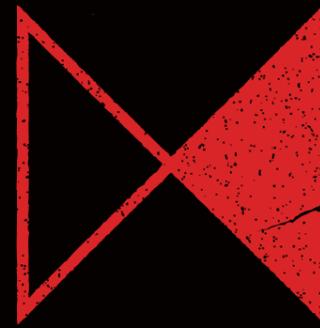
各日14:00開演(ロビー開場13:00)

東京芸術劇場コンサートホール

Giacomo Puccini "Madama Butterfly" opera complete "new production"
sat.18.Feb.2017 at 14:00 / sun.19.Feb.2017 at 14:00
Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall



ミハヤエル・バルケ (指揮) CONDUCTOR:MICHAEL BALKE



笈田ヨシ (演出) DIRECTOR:YOSHI OIDA

蝶々夫人

プッチーニ歌劇

平成28年度全国共同制作プロジェクト

KANAZAWA	1/22
OSAKA	1/26
TAKASAKI	2/4
TOKYO	2/18
TOKYO	2/19

東京音楽大学(合唱) TOKYO COLLEGE OF MUSIC

読売日本交響楽団(管弦楽) YOMIURI NIPPON SYMPHONY ORCHESTRA



2017 《新演出》全幕・日本語字幕付原語上演

2/18(土) 蝶々夫人 小川里美 SATOMI OGAWA
2/19(日) 蝶々夫人 中嶋彰子 AKIKO NAKAJIMA

各日14:00開演(ロビー開場13:00)

東京芸術劇場コンサートホール

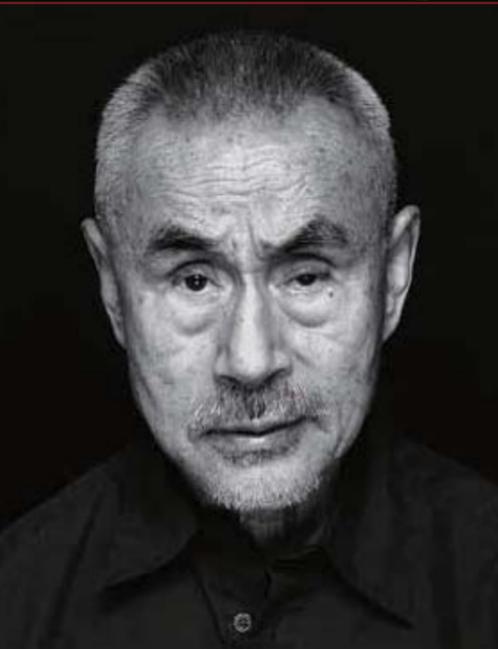
S ¥10,000 / A ¥8,000 / B ¥6,000 / C ¥4,000 / D ¥3,000 / E ¥1,500 / *SS ¥12,000

MADAMA BUTTERFLY

Giacomo Puccini

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre
読響
文化庁

笈田ヨシ、本邦初 待望のオペラ演出！



【演出】**笈田ヨシ** *Yoshi Oida* **DIRECTOR**

兵庫県出身。大阪で狂言を学ぶ。慶應義塾大学卒業後、文学座に入団、並行して義太夫を学ぶ。劇団四季を経て、1968年にロンドンでピーター・ブルック演出『テンペスト』に出演。活動の拠点をヨーロッパに移す。1975年にはヨシ・アンド・カンパニーを設立し、以降、日本を代表する演劇人として世界各国で活動を展開。舞台出演作品に、ブルック演出『マハーバーラタ』『テンペスト』『ザ・マン・フー』、サイモン・マクパーニー演出『春琴』など。また、『WASABI』『最後の忠臣蔵』など、2016年にはマーティン・スコセッシ監督の『沈黙』など多数の映画に出演する一方、演劇、オペラ作品の演出も数多く手がけている。1992年にフランス芸術文化勲章シュヴァリエ、以降オフィシエ(2007)、コマンドゥール(2013)の3勲章を受賞。

【指揮】**ミヒャエル・バルケ** *Michael Balke* **CONDUCTOR**

ドイツの生まれ。シンシナティ音楽院を首席で卒業する。2004年、ハンブルク室内歌劇場の指揮者に就任、『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』等70公演以上の音楽監督を務める。また、2005年からはハンブルク・オペラサロンを創設して若手歌手の育成に組み、ハンブルク国立歌劇場との共同制作を行う。2011年、マグデブルク歌劇場第1カベルマイスター就任。以来、『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、『魔笛』、等多くの演目の指揮を手掛け高い評価を獲得している。2015年、東京、金沢で行われた共同制作オペラ「メリーウイドウ」の指揮で日本デビュー。将来を期待される若手オペラ指揮者の一人。

PINKERTON **ピンカートン**

ロレンツォ・デカロー

リリコからスピントの役柄を歌える歌手としてイタリアオペラ界で最も人気のある歌手の一人である。カルロ・フェリーチェ劇場(ジェノバ)の「トスカ」でカヴァラドッシに抜擢され、その後イタリアの主要な歌劇場で数々の主役を務める。2012年「トスカ」カヴァラドッシでスカラ座デビュー。おもな出演は「マクベス」マクダフ(ボローニャ歌劇場)、「アイーダ」ラダメス(バレルモ、マッシモ歌劇場)、「蝶々夫人」ピンカートン(バーリ、ベトルツェリ歌劇場)、「ラ・ボエーム」ロドルフォ(ニースオペラ座、フィレンツェ歌劇場)など。共演した指揮者にバレンボイム、メータ、またデ・ボジオ、マウリッチオ・スカパッロ、グラハム・ヴィック、ロバート・ウィルソンらの演出によるオペラに出演している。

IL PRINCIPE YAMADORI

ヤマドリ

武蔵野音楽大学卒業。「リゴレット」マントヴァ公爵でデビュー。二期会「春琴抄」及び同オペラのフィンランド・サヴォンリンナ・オペラ・フェスティバル公演をはじめ、99年「タンホイザー」ヴァルター、Bunkamura「トゥーランドット」に出演。同年8月には同オペラのエディンバラ国際フェスティバル出演。2015年全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」(総監督：井上道義、演出：野田秀樹)に出演。日本のオペラ界には欠くことのないテノールの一人として活躍している。二期会会員。

LO ZIO BONZO

ボンゾ

清水那由太

Photo by 井村理人

【合唱】**東京音楽大学** *Tokyo College of Music* **CHORUS**

1979年以來毎年続いている日本フィルとの「第九」をはじめとし、国内外のオーケストラと定期的に数多く共演している。「第九」以外にも、2015年芸術&誌響(小林研一郎指揮:マーラー / 交響曲第2番「復活」)によるコンサートでも常に高い評価を得ている。

ORCHESTRA

【管弦楽】**読売日本交響楽団** *Yomiuri Nippon Symphony Orchestra*

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。以後、世界的な巨匠を指揮者に招き、充実した演奏会活動を展開。同時に、社会貢献活動などクラシック音楽のすそ野拡大に尽力している。

SHARPLESS **シャープレス**

ピーター・サヴィッジ

ケンブリッジ大学で歴史を専攻、ギルドホール音楽演劇学校で声楽を学ぶ。そのエレガントで洗練されたスタイルは高く評価され、英国で最も優れたバリトン歌手の一人と称される。ウェールズ国立歌劇場、ロイヤルオペラハウスなど英国主要

歌劇場では定期的に出演するほか、世界各地の歌劇場に出演している。特にベンジャミン・ブリティンの作品には欠かせない存在である。

IL COMMISSARIO

役人

猿谷友規

LA CUGINA

いとこ

熊田祥子

Photo by 井村理人

【副指揮】**辻博之** *Hiroyuki Tsuji* **ASSISTANT CONDUCTOR**

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。2013年オペラ指揮デビュー後は指揮活動とともに舞台作品の作曲や出演、著名合唱団、オーケストラへの客演の他、10団体の指揮者、客演指揮者、音楽監督をつとめている。

【コレペティトゥール】**服部容子** *Yoko Hattori* **KORREPETITOR**

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業。文化庁在外派遣研修員として米国に留学。国内外の多数のオペラで音楽スタッフとしてキャリアを積む。ピアニストとして多くの歌手と共演。東京芸大他多数教育機関で後進の指導にあっている。

2017年1月～2月、プッチーニ／歌劇『蝶々夫人』を全国4都市[金沢(金沢歌劇座)、大阪(フェスティバルホール)、高崎(群馬音楽センター)、東京(東京芸術劇場コンサートホール)]で5公演上演いたします。長らくピーター・ブルックと共に活動し、ヨーロッパの歌劇場ではオペラの演出を数々手がけ高い評価を得ており(ボローニャ歌劇場等『ナブッコ』、オペラ＝コミック劇場(パリ)『真珠とり』、リヨン歌劇場『ピーター・グライムス』、ヨーテボリ歌劇場『蝶々夫人』等)、世界に誇る日本の演劇人の一人である、笈田ヨシ氏が日本で初めてとなるオペラ演出に取り組みます。



Photo by Kei Uesugi

蝶々夫人(2/18)

小川里美 (ソプラノ)
Satomi Ogawa

東京音楽大学ならびに同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外育成制度によりミラノに留学。2009年ヴェローナのテアトロ・フィラルモニコ「トゥーランドット」でイタリアデビュー。トゥッレデルラーゴ、ジェノバ歌劇場にリユエ役で出演。国内では東京芸術劇場「イリス」タイトルロールや「こうもり」ロザリンデ、「メリーウイドウ」ハンナ、日生劇場開場50周年記念公演「フィデリオ」レオノーレ、東京・春・音楽祭「ラインの黄金」ヴォクリンデ、佐渡裕&兵庫芸文センター「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、藤原歌劇団「仮面舞踏会」アメリア、NHKニューイヤーオペラコンサートなどに出演。舞台における存在感と高い表現力は国内外で信頼を得ている。また、コンサートでも読響、N響をはじめとするオーケストラと数多く共演している。2009年シャネル・ピグマリオン・デイズ参加アーティスト。藤原歌劇団団員。

MADAMA BUTTERFLY

SUZUKI **スズキ**

鳥木弥生

Yayoi Toriki

東欧各地においてE.オブラスツォワとのリサイタルで演奏活動を開始。2002年フィレンツェ歌劇場公演(ジャンニ・スキッキ)でオペラデビューの後、イタリアや、フランスをはじめ、スペインでのプッチーニ『蝶々夫人』スズキ(2008、2016)など、ヨーロッパ各地でのオペラ公演やコンサートに多数出演し、現地メディアでも好評を得ている。2007年文化庁派遣で渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院オペラ芸術家のディプロマを最高位で取得。日本では岩城宏之との共演でデビュー。オペラでのメゾソプラノの重要なレパートリーに加え、ベートーヴェン(第九)など、コンサートのソリストとしても、数々の著名な指揮者、オーケストラとの共演で活躍している。2015年岩城宏之音楽賞受賞。

蝶は命を懸けて舞う

人生に、命を懸けて守るべきものがあるか。即答できる人生なら幸せだ。守るべき「大切」があるから。命懸けの場面の多いオペラで考えよう。実在した『蝶々夫人』は鹿鳴館でも名を知られ、長崎のグラバーと幸せに添い遂げ子孫も残した。彼女の紋が一筆描きの蝶。この幸福な事実が欧米で物語になると悲劇に変わる。物語の蝶は命懸けで守るべきすべてを失う。偽りの結婚で夫に裏切られ、正妻に子を連れ去られ、名誉のみを守り自害する。

その最新舞台は巨匠・笈田ヨシの演出だ。早くにフランス演劇界に飛び込んだ笈田は83歳、日本では初演出だ。笈田は歌劇の甘美な陶酔に演劇の呼吸を仕掛ける。心理描写の彫りが深い。制作陣や歌手は日欧混成、題名役の2人は登り坂の国際派。金沢・大阪・高崎・東京の各都市共同制作で各楽団も腕を競う。北欧で絶賛の舞台、命懸けで観る価値あり。



Photo by Kei Uesugi

蝶々夫人(2/19)

中嶋彰子 (ソプラノ)
Akiko Nakajima

北海道生まれ。1990年全豪オペラ・コンクール優勝。同年、シドニーとメルボルン、両オペラハウスでデビュー。92年イタリア、ナポリのサン・カルロ歌劇場で欧州デビュー。同年、ヘンデルのオペラ「アルチーナ」のタイトルロール出演でヨーロッパ国際放送連合より最優秀賞を受賞。1999年よりウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手となりトップスターとして活躍。同年デュトワ&NHK交響楽団のフォーレ「レクイエム」で日本デビュー、最も注目される国際的日本人ソプラノのひとりである。2012年からはプロデュースや演出としても、活動を展開し、2014年11月よみうり大手町ホールで行われた「モーツァルトハウス・ウィーン in ジャパン 2014」では、総合企画監督を務め、高い評価を得た。2016年には文化庁国際交流支援事業として、中嶋彰子プロデュースの舞台作「夢幻能・月に憑かれたピエロ」がシオン国際音楽祭へ出演。第14回「出光音楽賞」受賞。モーツァルトハウス・ウィーン、アーティスティック・アドバイザー。ウィーン工科大学建築設計学部講師。群馬観光特使。群馬オペラアカデミー「農楽塾」総監督。
<http://www.akiconakajima.org>

KATE PINKERTON **ケイト・ピンカートン**

サラ・マクドナルド

Sarah Macdonald

アメリカマサチューセッツ州生まれ。高校から演劇を始め、その奥深さに魅了される。大学では演劇と心理学を専攻し、全米シェイクスピア大会では入賞。ジャズミュージシャンである母の影響で日本に興味を持ち、日本文化・日本語も同時に専攻する。現在では演技を中心に、番組バネラー、レポーター、アシスタントとしても幅広く活動を行っている。主な出演はNHK連続テレビ小説「花子とアン」ではフィリップス先生役、日本テレビ「五つ星ツーリスト」リサ役等。現在NHK WORLD「J-FLICKS」レギュラー出演中。
<https://www.instagram.com/itoremix/>

響敏也(作家・音楽評論家)

人生に、命を懸けて守るべきものがあるか。即答できる人生なら幸せだ。守るべき「大切」があるから。命懸けの場面の多いオペラで考えよう。実在した『蝶々夫人』は鹿鳴館でも名を知られ、長崎のグラバーと幸せに添い遂げ子孫も残した。彼女の紋が一筆描きの蝶。この幸福な事実が欧米で物語になると悲劇に変わる。物語の蝶は命懸けで守るべきすべてを失う。偽りの結婚で夫に裏切られ、正妻に子を連れ去られ、名誉のみを守り自害する。

その最新舞台は巨匠・笈田ヨシの演出だ。早くにフランス演劇界に飛び込んだ笈田は83歳、日本では初演出だ。笈田は歌劇の甘美な陶酔に演劇の呼吸を仕掛ける。心理描写の彫りが深い。制作陣や歌手は日欧混成、題名役の2人は登り坂の国際派。金沢・大阪・高崎・東京の各都市共同制作で各楽団も腕を競う。北欧で絶賛の舞台、命懸けで観る価値あり。

夫蝶
人々

